



八中だより



「コンピテンシー」(全校朝礼講話の一部)

校長 高汐 康浩

第2号

令和6年4月15日

府中市立

府中第八中学校



〈在籍生徒数〉 一学年216名、二学年250名、三学年261名
 全校生徒数727名
 〈学校住所・電話番号〉
 〒182-0035 府中市四谷一丁目二八二七
 電話 〇四二(三六四)一八八一
 ★「すてきな入
 学式でした」と
 いうご感想を
 たくさんいた
 だきました！

先日行った始業式では、まず礼の作法についてお話ししました。特にフォーマルな場面での作法(分離礼)についてその仕方について仲間同士で確認し合ったり、鏡で確認したりするとよいと思います。そして、生徒の皆さんの式に臨む姿勢から、今年度の良いスタートを切ろうという意気込みがとてもしっかりと伝わってきました。式前の校歌の練習での三年生の代表生徒のリーダーシップは見事でしたし、リーダーを支える二、三年生の皆さんの取組も素晴らしいものでした。

さて、本題に入ります。二年生、三年生の皆さんは「コンピテンシー」という言葉を聞いたことがあると思います。一年生の皆さんは初めて聞いたという人がほとんどだと思います。

この言葉には、「ある仕事や役割において、ある一定の成果や成績を残す人に共通する行動特性」という意味があります。別な言い方をすれば、あることにおいて成果を残している人たちには共通する特徴的な行動の特性が備わっているということになります。もっと分かりやすく言えば、テストでいい成績を残す人のほとんどが、毎日家庭学習をしている、とか、授業を真剣に受けているとか、共通する行動をしているというようになります。

さて、中学校を卒業するとそれぞれが自分で選んだ道を進むことになります。自分の希望する進路を実現するためには、日頃の学習やさまざまな取組がとても大切です。最近、入試の面接や入社試験、公務員試験の面接で、「コンピテンシー」が重要視されています。これまでの入試の面接では、

「高校では部活動は何部に入り、どんな活動をしたいですか？」
 「中学校では生徒会役員をしていたようですが、高校でも生徒会役員をしますか？」
 など将来のことを中心に聞くことが多くありました。しかし、このような質問に対しては、いくらでも何とでも言えます。例えば、

「はい、勉強を中心に頑張りたいです。」
 「野球部に入りレギュラーとして活躍したいです。」
 「ぜひ、生徒会役員に立候補して学校のリーダーとして頑張ります。」など：

しかし、重要視されている「コンピテンシー」を意識した面接では、
 「中学校で一番力を注いだのはどんな活動ですか？」
 「学級委員をしていたと

のことで、いちばん成果を残したのはどんなことですか？」
 「あなたの学校では朝読書をしているということですが、四月からこれまで何冊読みましたか？また、読書をとおして学んだことは何ですか。読書があなたの学習や生活にどのように影響していますか？」
 「毎日の清掃活動で大切にしていたことは何ですか？清掃活動をとおして学んだことはどんなことですか？学んだことをどのようにどんな場面で生かしていますか？」
 など：

答えたことを掘り下げるように次から次へと関連した質問が行われます。「コンピテンシー」を重要視した面接では「ごまかし」は効きません。普段、やるべきことをあたりまえにやっているとすることが大切であり、あたりまえの活動から多くのことを学ぶことができるのです。

《昨年度の都立高校の推薦入試の面接の質問の一部を紹介します》

- 都立芦花高等学校
 「中学校3年間で頑張ったことは何ですか？」(部活動と答えた)
- 都立日野高等学校
 「得意教科と不得意な教科は何ですか？」
 「不得意教科をどのように克服しましたか？」
 「最近、不得意教科について調べたことはありますか？」
- 都立立川高等学校
 「中学校ではリーダーを経験しましたか？」
 「あなたは自分をどのようなリーダーだと思っていますか？」
 「リーダーとしてまとめようという工夫をされましたか？」
- 都立昭和高等学校
 「委員会の委員長としての活動で何をできましたか？」
 「委員長としてやってよかったことは何ですか？」
 「委員長としてやらなければよかったことは何ですか？」
 「その理由は何ですか？」



「支え合いながら成長していきたい」

新入生代表 鈴木 えま さんの
期待あふれるメッセージ
(入学式の「誓いの言葉」から)



『新入生代表誓いの言葉』

大きな夢と希望に満ちあふれたすがすがしい春の日。
私たちは府中第八中学校に入学します。

本日は、私たちのためにこのような盛大な式を挙行していただきありがとうございます。新入生を代表し、お礼を申し上げます。

新しい制服に身を通した今、様々な思いを胸に中学校生活への第一歩をふみ出します。中学校では勉強する教科が増え、勉強内容も難しくなると思います。今までとは違う環境に不安もありますが、それ以上に新しい仲間との出会いや、部活動、学校行事など、楽しみも多くあると感じています。

これから始まる三年間、何事にも全力で取り組み、友達と支え合いながら成長していきたいと思えます。時には辛いことがあるかもしれませんが、その時には、先生方、先輩のみなさんにアドバイスをいただき、仲間と協力して乗りこえていきます。中学生という自覚をもち、精一杯努力し実りある中学校生活を送っていきます。先生方、先輩方、温かいご指導をよろしく願います。

令和六年四月九日

新入生代表 鈴木 えま



お知らせ

TOPICS

活躍する八中生

〔敬称略〕

★第五十一回多摩川清掃市民運動に参加★
青少年からの働きかけで四月十三日土曜日に行った清掃活動に多くの生徒が参加しました。閉会の集会では、三年の高宮佑太朗さんが生徒を代表して、地域の皆さんにお礼の言葉などを伝えました。

★卓球部★

第三十八回八王子市中学校招待卓球大会 男子団体 優勝
第四十六回関東中学校江戸川区招待卓球大会 男子団体 第3位
第3回 VICTAS日野 招待卓球大会 男子団体 第3位
浅倉 陽和太 和田 塔矢 嶺川 英志
松平 昌大 石川 蓮真 岡部 翔之介



- ◆令和6年度体罰防止スローガン決定!◆
本年度が始まった四月一日に、府中八中体罰防止スローガン制定チームの教員により検討を始め、四月十一日に決定しました。本年度のスローガンは『一緒に守ろう!生徒の身体と心の元気』です。
- ◆サポートルームについて◆
本年度もサポートルームを開室しています。本校のサポートルームの利用については、本校の教職員にお問合せください。
- ◆次号の学校だよりから『授業のようす』コーナーを設けます◆
「発見すること」「対話すること」「決定すること」「表現すること」をキーワードに生徒のさまざまな力を育成していきます。学校だよりをとおして生徒の皆さんの取組のようすを発信していきます!

思春期は、心身ともに大きく成長する時期だからこそ、悩みをもつことがあります。悩みを抱えてしまっているときに、相談できる相談窓口はたくさんありますので、安心してください。これまで配布してきたリーフレット「不安や悩みがあるときは:一人で悩まず、相談しよう」と「TOKYOほっとメッセージチャンネル」を紹介していますので、活用してください。下のQRコードからアクセスできます。

